



# 学校への提案例

## 種をまくの「探究コース」

Presentation



探究と体験の場 種をまく

# 種をまくの紹介を



熊谷で面白いことやってます。



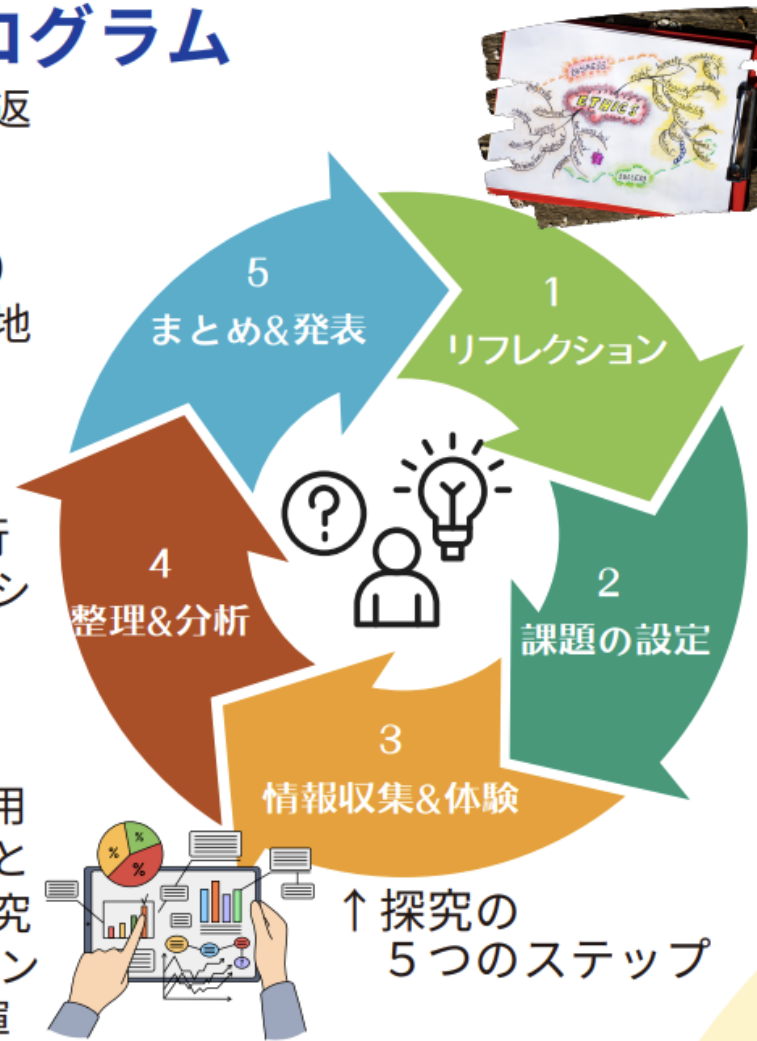
## 完全オーダーメイドの種をまく探究プログラム

このプログラムは、5つのステップをスパイラル状に3回繰り返す構造になっています。

1周目ステージ1は、自分の好きなものについて（自己理解）、ステージ2は、好きなものと社会とのつながり（社会との関連）を、ステージ3は、好きなもので社会に貢献する（社会貢献・地域貢献）を念頭に課題を設定していきます。

探究の質を決める重要なスキルが「リフレクション（振り返り）」です。はじめは、スタッフの支援を受けて自分の考えや行動を繰り返し振り返ります。要領がわかれば、一人でリフレクションできるようになります。こうなれば、次第にメタ認知が育ち、こども達は自律した学習者として成長していきます。

他にも本プログラムの特徴として、多様な思考ツールとAIの併用が挙げられます。多様な方法で集めた情報や体験から感じたことを、どのように整理し、どのように分析するかは、これまた探究の質に関わります。ベン図やXYチャート、ダイヤモンドランキング等の思考ツールとAIを併用することで、自分+αの能力を発揮することが期待できます。20年先を見据えると、このような経験を積むことが探究だけでなく、将来にわたる問題解決の力になるはずです。



本探究プログラムは  
探究シリーズで提供しています

# 種をまく 探究 プログラム

「教育は20年先を見て行うものだ。」

これは、ある教育者の言葉です。  
私たち「種をまく」も、20年後の社会を予測しながら、今の教育に必要なことを考え、実践しています。  
その中で、最も重要だと位置付けているのが探究です。

# 提案は 大きく分けて2つです。

## 1 生徒を支援 伴走型支援&ワークショップ

- ・ 探究の各プロセスを直接支援
- ・ 探究を疑似体験するワークショップ（探究の理解）
- ・ 思考ツールを使うワークショップ

## 2 先生方をサポート ワorkshop&資料WS提供

- ・ リフレクションの方法論
- ・ 生徒の主体性を引き出す提案
- ・ 探究のプロセスを深めるための提案
- ・ 独自資料+ワークシートの提供
- ・ その他 発注承ります



# 1 生徒を支援



- 探究の各プロセスを直接支援
- 探究を疑似体験するワークショップ（探究の理解）
- 思考ツールを使うワークショップ



# 各探究プロセスを個別支援



## 課題の設定

自分の中の「問い」を見出し、課題を設定する。



## 整理・分析

情報を別の形に整理したり、まとめ直したりして課題解決に向け分析する。



## 情報の収集

本やインターネット、インタビュー、実験、体験など



## まとめ・表現

これまでの取り組みや結論を、他の人にもわかるようにまとめる。プレゼンや論文、動画やポスター等

## リフレクションの手法を使います

目的に応じた視点を持って振り返りを支援

## 主体性を引き出す

「どうしたの？」 「どうしたいの？」

「どう支援してほしいの？」

心理的安全性 特性の理解

## 自律性を育てる

メタ認知の育成

根拠のある自信

あきらめない力



# 探究を理解する 疑似体験する



1

## テーマ「ゾウ」

### 課題の設定

ゾウの意外な一面から問いを立て、問いから課題を設定する。

「ゾウは優しいって本当？」

2

### 情報収集・整理分析

インターネットやAI体験、思考ツールを活用

「ゾウは仲間を助ける」

3

### まとめ・表現

他者に伝わるように発表する。

ポスターやレポート

## テーマ「タピオカ」

### 課題の設定

流行が去った実態やその理由を調べ、そこから課題を立てる。

「タピオカを再び流行らせよう！」

### 情報収集・整理分析

インターネットやAI体験、思考ツールを活用

「タピオカのよさはもちもち感」

### まとめ・表現

他者に伝わるように発表する。

ポスターやレポート  
& 実際に作った商品



# 思考ツールのワークショップ①

## 「埼玉県のイメージを見える化しよう」



1

### ブレインストーミング

思いつくままに、どんどん書き出そう！

2

### Tチャート

良し×悪し、白×黒等の二項対立に分ける。

3

### KJ法

分けたものをカテゴリーで分け、捉えやすくする。





# 思考ツールのワークショップ②

## 「埼玉県の名物を紹介しよう」



1

### マインドマップ

個人で埼玉県の名物についてマインドマップを描き考えを広げよう。

2

### ダイヤモンドランキング

グループでみんなのマインドマップをもとに話し合い重要度の高い順にダイヤモンドランキングにまとめる。

3

### コピーライティング

ここまでの活動をもとに埼玉県の名物を通して埼玉県を紹介する短いキャッチコピーを考え発表する。



# 1 生徒を支援



	個別支援	スキルアップ支援
生徒へ	<ul style="list-style-type: none"><li>各探究プロセスでの個別支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>探究の疑似体験</li><li>思考ツールのワークショップ</li></ul>



## 2 先生方をサポート



例えば

- ・リフレクションの方法論
- ・生徒の主体性を引き出す提案
- ・探究のプロセスを深める提案
- ・独自資料の提供 ・その他

私たちの  
アイデアを  
提供します



# リフレクションの方法論

主体性を伸ばし、自律した学習者を育てるための核心

## リフレクションの視点をもって

- ・ 自分を知る
- ・ ビジョンを形成する
- ・ 経験から学ぶ
- ・ 多様な世界から学ぶ
- ・ 未知に向き合う

# 主体性を引き出す

生まれたときは、みんな主体性の塊なんですけど・・・

## 自己決定を促す3つの言葉と心理的安全性

「どうしたの？」 「どうしたいの？」 「どうしてほしいの？」

特性の理解 話し方 声量 関わる頻度 見取り方



自律した学習者へ



リフレクション＋思考ツール活用

# 探究のプロセスを深める

目的に応じた思考ツールを使いこなすことができるように

多様な思考ツールを提案できるようにする

こんな時には、こんな思考ツールを使うといいよ。

と言えるだけで、生徒の探究を深めることができます。

## 資料・ワークシートの提供

貴校の実態を反映したものを用意します。

例えば「評価」

評価のための評価ではなく、探究を深めるための評価ができる  
評価補助簿を提案します。

他にもご要望を聞かせていただきます。



# 2 先生方をサポート



	個別支援	スキルアップ支援
生徒へ	<ul style="list-style-type: none"><li>各探究プロセスでの個別支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>探究の疑似体験</li><li>思考ツールのワークショップ</li></ul>
先生へ	<ul style="list-style-type: none"><li>個別支援方法のアイデア提供</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>理解を深めるワークショップ</li><li>探究を深める提案</li><li>資料やワークシートの提供</li></ul>



# 組み合わせは自由

打ち合わせながら決めていきます

## 1 どれも主体性と自律性を育てる視点でデザインしています。

探究とは、主体的な営みであり、自律的な学びです。

結果ではなく、プロセスにエネルギーを注ぎたいと考えています。

個別支援でも、スキルアップ支援でも方向性は同じです。

## 2 生徒の実態をふまえて詳細を詰める必要があります。

打ち合わせをお願いいたします。

守秘義務は厳守します。





# 種をまくの探究支援のメリット



## 働き方の改善

私は、教員時代自分の教科だけで精一杯だった時期がありました。外部に委託することも、ひとつの手段かと思います。



## スキルアップ

生徒にとっても、先生方にとってもスキルアップできるような支援・サポートをします。



## きっかけを増やす

探究を楽しむ環境を整えます。自己と向き合う機会を増やします。

### 参考文献

- ・伊藤実歩子『変動する総合・探究学習』大修館書店、2023
- ・熊平美香『リフレクション 自分とチームの成長を加速させる内省の技術』DISCOVER、2021
- ・田中亨『中高生のための探究学習入門 テーマ探しから評価まで』光文社新書、2024
- ・工藤勇一、青砥瑞人『最新の脳研究でわかった！自律する子の育て方』SB新書、2021
- ・田村学（監）廣瀬志保（編著）『高校生のための「探究」学習図鑑』学事出版、2022
- ・佐野和彦『小林宗作抄伝 金子巴氏の話を中心に』話の特集、1985
- ・『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説総合的な探究の時間編』文部科学省ホームページ
- ・文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 加藤智『新学習指導要領の改訂のポイントと学習評価（高等学校 総合的な探究の時間）』文部科学省ホームページ

